

[017] 言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/5517>

出版情報：言語文化論究. 17, 2003-02-28. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン：
権利関係：

個人研究業績一覧

(2001年11月～2002年10月)

言語科学部門 言語教育学講座

井上奈良彦

- －「CMCを用いた英語授業での学生のコミュニケーション行動分析」岡野進・山内正一編『サイバースペースを利用した国際言語情報の多元的研究と教育』, pp. 13-24, 2002年3月. (論文・単著)
- －「CMCを利用した外国語教育における学生のコミュニケーションの研究」『高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究』(特定領域研究(A) 120 平成13年度 公募研究1 研究成果報告書), pp. 89-94, 2002年3月. (報告・共著)
- －『ディベートにおける談話構造の日米比較』平成11年度～平成13年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書, 2002年3月. (報告・共著)

小野 和人

- －「アメリカ・ルネサンス期の文化・文学における宇宙意識：概観」『英語英文学論叢』第52集, pp. 35-54. 九州大学英語英文学研究会, 2002年2月. (論文・単著)
- －ヘンリー・ソロー「月下の自然2」(“The Moon”)『言語文化論究』No. 15, pp. 141-154. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年2月. (翻訳・個人訳)

カスヤン・アンドレアス

- －「3D-IESの国際化に向けてードイツ語教官の試みー」岡野進・山内正一編『サイバースペースを利用した国際言語情報の多元的研究と教育』, pp. 65-77, 2002年3月. (報告・単著)
- －“‘Message/Medium-orientated Communication’ in the German FL-class for Japanese Students of the

First Academic Year.”『言語科学』37号, pp. 49-56九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2002年3月. (論文・単著)

古村由美子

- －“How can Japanese be considerate to their interlocutor in refusals?: A study of pragmatic strategies in Japanese discourse.”『言語文化論究』No. 16, pp. 147-164. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月. (論文・単著)
- －「日本人と英語母語話者の対人葛藤対処方略の比較研究」第9回日本コミュニケーション学会九州支部大会, 於：日本文理大学, 2002年10月13日. (口頭発表・単独)

松村 瑞子

- －「日本語の歴史的現在」韓日言語文化 Forum '01 於：韓国仁川大学校, 2001年12月. (口頭発表・単独)
- －「時制表現としての日本語のタ形」『韓日言語文化研究』第3巻(印刷中). 韓日言語文化研究会, 2002年12月. (論文・単著)

山村ひろみ

- －“La función básica del pretérito imperfecto y la delimitación temporal”, *Estudios Hispánicos* 21 (Asociación Coreana de Hispanistas), pp. 311-317, 2001年12月. (論文・単著)
- －「解説：『スペイン語記述文法』における動詞単純時制の取り扱いについて」『言語文化論究』No. 15 (九州大学大学院言語文化研究院発行), pp. 155-172, 2002年2月. (解説・単著)
- －「解説：『スペイン語記述文法』における Consecutio Temporum の取り扱いについて」『言語文化論究』No. 16 (九州大学大学院言語文化研

- 究院発行), pp.231-262, 2002年7月。(解説・単著)
- 「時制機能の確定と *variación sintáctico-semántica* - 日記の中の *pretérito perfecto simple* と *pretérito perfecto compuesto* を手がかりとして-」第22回日本スペイン語学セミナー (SELE2002), 於: 長崎 (式見ハイツ), 2002年8月。(口頭発表・単独)
 - “El adverbio *siempre* y las dos formas verbales del pasado” 第48回日本イスマニヤ学会特別企画第二回日韓合同研究会, 於: 東京外国語大学, 2002年10月。(口頭発表・単独)
- 志水 俊広
- 「3D-IES, BBS, およびEメールを利用した英語の授業」『サイバースペースを活用した国際言語情報の多元的研究と教育』(平成11年度~平成13年度九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(C)研究成果報告書), pp.44-52. 2002年3月。(論文・単著)
 - “Introducing non-native varieties of English to the classroom: a case study of inviting international students to a classroom”第32回東アジア英語教育研究会 於: 西南学院大学, 2002年10月。(口頭発表・単独)
- 言語科学部門 言語情報学講座**
- 大津 隆広
- 「Reading *TIME*」英宝社, 2002年1月。(教科書・共著)
 - 「談話連結語 *because* と *after all* の概念的意味と手続き的意味——関連性理論からの分析」『言語科学』No.37, pp.69-83. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2002年2月。(論文・単著)
 - “Surface/Deep Anaphora and Relevance,” Cognitive Pragmatics Workshop: Aspects of Cognitive Pragmatics 於: ICU, 2002年3月。(口頭発表・単独)
 - 「外国語教育改革「単一から多様へ」とその展望」『外国語教育の現状と展望』pp.25-37. 東北大学大学教育研究センター, 2002年3月。(論文・単著)
- 鈴木 右文
- 「大学間遠隔共同英語授業の試み」P Cカンファレンス in 北九大「はじめてのIT, これからのIT」第2分科会「情報技術 (IT) と外国語教育」(主催: P Cカンファレンス2001in 北九大実行委員会, 全国大学生協連合会九州地域センター, 北九州市立大学生協同組合 後援: 北九州市教育委員会, 福岡県教育委員会) 於: 北九州大学ひびきのキャンパス, 2001年11月。(口頭発表・単独)
 - 「3次元仮想空間を利用した大学間共同授業の歩み」教育認知心理学講座シンポジウム・シリーズ シンポジウム2「3次元仮想環境によるコミュニケーションな語学教育プロジェクト」(主催: 京都大学大学院教育学研究科教育認知心理学講座) 於: 京都大学芝蘭会館, 2001年12月。(口頭発表・単独)
 - 「映画の世界: ソフィーの選択」『反戦情報』No.208, 2001年12月。(連載コラム・単独)
 - 「映画の世界: 陸軍」『反戦情報』No.209, 2002年1月。(連載コラム・単独)
 - 「3次元仮想空間チャットシステムの改良と英語授業実践」平成13年度科学研究費補助金特定領域研究 (A) 120「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」第1回領域全体会議 領域A02「外国語教育の高度化の研究」分科会 於: 学術総合センター(東京), 2002年1月。(ポスター発表・単独)
 - 「英語教育の改善」ファカルティ・デイベロップメント講演会「大学における外国語教育」於: 神戸大学国際文化学部, 2002年2月。(講演・単独)
 - 「映画の世界: ひめゆりの塔」『反戦情報』No.210, 2002年2月。(連載コラム・単独)
 - 「大学一般教育における優秀な映画鑑賞者の育成のために」『言語文化論究』No.15, pp.33-

44. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年2月. (論文・単著)
- 「3次元仮想空間チャットシステムによる英語実験授業の改善」『英語英文学論叢』No. 52, pp. 87-100. 九州大学英語英文学研究会, 2002年2月. (論文・単著)
- 「映画の世界：月光の夏」『反戦情報』No. 211, 2002年3月. (連載コラム・単独)
- 科研費報告「3次元仮想空間チャットシステムにおける英語の授業方法の開発」『特定領域研究(A)「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」領域番号120研究成果報告書 平成13年度公募研究 A02: 外国語教育の高度化の研究』pp. 47-52. 2002年3月. 報告書・単独)
- “Against an Afterthought Analysis of Extraposition from NP”『言語科学』No. 37, pp. 1-10. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2002年3月. (論文・単著)
- 「北海道大学との遠隔共同英語授業による3次元仮想空間チャットシステムの改良」『サイバースペースを活用した国際言語情報の多面的研究と教育：平成11年度～平成13年度九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(C)研究成果報告書』(岡野進・山内正一編), pp. 118-132. 2002年3月. (論文・単著)
- 「映画の世界：黒い雨」『反戦情報』No. 212, 2002年4月. (連載コラム・単独)
- 「映画の世界：チャップリンの独裁者」『反戦情報』No. 213, 2002年5月. (連載コラム・単独)
- 「他大学の英語教育の動きについて」九州大学言語文化研究院英語教育を考える会 於：九州大学六本松地区, 2002年6月. (口頭発表・単独)
- 「映画の世界：新しき土」『反戦情報』No. 214, 2002年6月. (連載コラム・単独)
- 「映画の世界：太白山脈」『反戦情報』No. 215, 2002年7月. (連載コラム・単独)
- 「ネットワークによる対話型英語授業の位置」『言語文化論究』No. 16, pp. 81-93. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月. (論文・単著)
- 「映画の世界：二十四の瞳」『反戦情報』No. 216, 2002年8月. (連載コラム・単独)
- 「映画の世界：J S A」『反戦情報』No. 217, 2002年9月. (連載コラム・単独)
- 「映画の世界：ミッシング」『反戦情報』No. 218, 2002年10月. (連載コラム・単独)
- 高藤 冬武
- 「在る日の鳴瀧終夜亭」(保田與重郎著：『校註祝詞』保田與重郎文庫 新学社) pp. 245-251, 2002年6月. (解説・単著)
- 田島 松二
- 「自著紹介」『図書館情報』Vol. 37, No. 1, p. 17. 九州大学附属図書館, 2001年6月. (その他・単著)
- The Kyushu Review, No. 6., 120頁, 2001年10月. (学術誌・編集発行)
- 「David Burnley 教授の逝去を悼む」The Kyushu Review, No. 6, pp. 105-06. 2001年10月. (その他・単著)
- 「David Burnley 教授略歴・著作目録」The Kyushu Review, No. 6, pp. 107-11. 2001年10月. (書誌・単著)
- 「自著紹介」『言文フォーラム』第24号, p. 9. 九州大学言語文化研究院, 2001年10月. (その他・単著)
- 『英語史研究会会報』第6号, 43頁, 英語史研究会, 2001年12月. (会報・編集発行)
- 「中英語頭韻詩の言語と文体—J. P. Oakden (1930 & 1935) 再考」日本英文学会第74回大会 於：北星学園大学, 2002年5月. (司会兼講師)
- 『英語史研究会会報』第7号, 44頁, 英語史研究会, 2002年6月. (会報・編集発行)
- 田中 俊也
- “Two Hidden Preterite-Present Verbs in Germanic:

An Argument for Their Inactive Lineage.”『言語文化論究』第15号, pp.21-31. 九州大学言語文化研究院, 2002年2月。(論文・単著)

- “The Origin and Development of the *es- vs. *wes-Suppletion in the Germanic Copula: From a Non-Brugmannian Standpoint.” *NOWELE* 40 (April 2002), pp.3-27. Odense: Odense University Press, 2002年4月。(論文・単著)
- “Review: Peter Collins and David Lee (eds.), *The Clause in English: In honour of Rodney Huddleston*” *Studies in English Literature*, English Number 43 (2002), pp.79-87. The English Literary Society of Japan (日本英文学会) 2002年4月。(書評・単著)

恒吉 法海

- ジャン・パウル著『彗星』九州大学出版会 翻訳 pp.5-481. 解題 pp.483-495. 2002年10月。(翻訳, 解題・単著)

吉村 治郎

- 「ロレンスの文明観」『ロマン派の空間』(吉野昌昭編 松柏社) pp.202-216. 2000年3月。(論文・単著)
- ウィリアム・ゴールディング著『可視の闇』(吉田徹夫・宮原一成監訳 開文社) pp.128-159. 2000年6月。(翻訳・単独)

文化情報学部 メディア文化情報学講座

太田 一昭

- 「英国歴史劇はスチュアート朝において衰退したか」『英語英文学論叢』No.52, pp.13-34. 九州大学英語英文学研究会, 2002年2月。(論文・単著)

栗山 暢

- 「Prolog とドイツ語統語解析」『言語文化論究』No.15, pp.1-19. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年2月。(論文・単著)

徳見 道夫

- 「『ヘンリー五世』における捕虜殺害命令」『言語文化論究』第15号 pp.115-122. 九州大学大学院言語文化研究院, 2000年2月。(論文・単著)
- 「二つのホリンシェッド『年代記』とシェイクスピアの第二・四部作」『英語英文学論叢』第52集, pp.1-11. 九州大学大学院言語文化研究院, 2000年2月。(論文・単著)

福元 圭太

- 「辞書と翻訳」平成13年度九州大学公開講座「異文化の受容—翻訳を中心として」於：九州大学六本松キャンパス, 2001年12月。(口頭発表・単独)
- 「辞書と翻訳」『言語文化論究』第16号 pp.65-80. 九州大学言語文化部, 2002年7月。(論文・単著)
- 「青年運動とホモソーシャル—同性愛と政治のディスクルス」日本独文学会シンポジウム「ドイツ青年運動と文学」における発表。またこのシンポジウムの企画・司会 於：新潟大学, 2002年9月。(口頭発表・単独)

文化情報学部 比較言語文化学講座

阿部 吉雄

- 「戦前の日本における対ユダヤ人政策の転回点」『言語文化論究』No.15, pp.45-59. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年2月。(論文・単著)
- 「上海のユダヤ人ゲットー設置に関する考察」『言語文化論究』No.16, pp.1-13. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月。(論文・単著)

岩佐 昌暲

- 「浅談 “蒼白”」中国新詩理論国際学術研討会, 於：北京香山飯店, 2001年12月15日~17日。(口頭発表・単独)
- 「三つの『大雁塔』詩—政治の時代から経済

の時代へ向かう中国当代文学——九州大学中国文学会編『わかりやすくおもしろい 中国文学講座』pp.208-219. 中国書店, 2002年5月.
(論文・単行本分担執筆)

小谷 耕二

- 「ロバート・ベン・ウォレンの語りの技法と歴史意識—『すべて王の臣』—について」『言語文化論究』No.16, pp.29-41. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月。(論文・単著)
- 「文学の「歴史」的効用—村田喜代子とフォークナーの一齣から—」*The Kyushu Review*, No.7, pp.93-96. 「九州レビュー」の会, 2002年10月。(その他・単著)

佐藤 正則

- 「初期ポリシェヴィキにおけるマルクス解釈の多様性について—ボグダーノフ, ルナチャルスキー, バザーロフを中心に—」第27回社会思想史学会大会, 於: 専修大学, 2002年10月25日.
(口頭発表・単独)
- 「セルゲイ・ブルガーコフにおける近代の超克とマルクス評価」ロシア史研究会2002年度大会, 於: 西南学院大学, 2002年10月27日。(口頭発表・単独)

高橋 勤

- 「自由の攻防—奴隷解放運動とコンコード」『英語英文学論叢』第52集, pp.55-67, 九州大学英語英文学研究会, 2002年2月。(論文・単著)
- 「ピュアであること—ソローにおける認識の行方」九州アメリカ文学会, 西南学院大学, 2002年5月11日。(口頭発表・単独)
- 「ことばの中の風景—ソローとエマソンの詩学」日本ソロー学会春期大会シンポジウム「エマソン生誕二百年—コンコードの知識人たち」酪農学園大学, 2002年5月24日。(口頭発表・単独)
- 「ピュアであること—ソローにおける認識の行方」『言語文化論究』No.16, pp.43-52 九州

大学大学院言語文化研究院, 2002年7月(論文・単著)

- “Transparency of the Emersonian Perspective: In Response to Professor Joel Myerson’s Keynote Speech,”アメリカ研究京都セミナー, 文学部門コメンテーター, 立命館大学, 2002年7月26日.
(口頭発表・単独)

田中 陽子

- 「初習者に文法も発音—oral も écrit も」ランコントロール関西フランス語教育研究会第16回2002年3月。(口頭発表・単独)
- 「初習者に文法も発音—oral も écrit も」『RENCONTRES』16号, pp.44-48ランコントロール関西フランス語教育研究会, 2002年7月。(報告・単著)
- 「日本における英語以外の外国語教育の現状の概観ならびにEUの言語教育の理念と対策及びEU加盟国の言語教育の状況の瞥見」『言語文化論究』No.16, pp.95-116. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月。(論文・単著)

谷口 秀子

- 「少女漫画における男装——ジェンダーの視点から」『言語文化論究』第15号, 105-114頁, 2002年2月。(論文・単著)
- 「大学生に必要な英語力とは何か——文法・読解力神話を越えて——」『大学教育』(九州大学大学教育センター)第8号, 59-67頁, 2002年3月。(論文・共著)

中里見 敬

- 「中国古典小説研究会の紹介」『日本中国学会会報』2, pp.8-9. 日本中国学会, 2001年12月.
(紹介・単著)
- Elly Hagenaar 著「中国語における自由間接話法」『言語科学』37, pp.85-95. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2002年3月。(翻訳・単著)
- Elly Hagenaar 著「漢語中的自由間接引語」『言

- 語科学』37, pp.97-104. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2002年3月。(翻訳・単著)
- 「ひとがいて, ことばが聞こえる: 相原茂著『雨がホワホワ: 中国語のある風景』『東方』255, pp.24-27. 東方書店, 2002年4月。(書評・単著)
- 「中国小説入門」, 『わかりやすくおもしろい中国文学講義』(九州大学中国文学会編, 中国書店, 2002年5月) pp.64-75。(概説・教科書・単著)
- 西山 猛
- 「唐代における動詞『話』の成立」『言語文化論究』No.16, pp.117-123. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月。(論文・単著)
- 「中国語文法の歴史的なうづりかわり」九州大学中国文学会編『わかりやすくおもしろい中国文学講義』pp.268-277. 中国書店2002年5月。(概説・教科書・単著)
- 松原 孝俊
- 「考古学と朝鮮神話研究」『韓半島考古学論叢』pp.609-619. 2002年。(論文・単著)
- 『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成13年度科学研究費中間報告書, p.241, 2001年3月。(調査報告, 単著)
- 『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, p.736, 2002年3月。(調査報告, 単著)
- 『台湾大学所蔵日本語古典籍調査』平成14年度科学研究費報告書, p.376, 2002年3月。(調査報告, 単著)
- 「ソウル大学中央図書館所蔵日本語古典籍目録」『韓国及び中国に残置された日本語古典籍・日本史関係史料調査とその情報化に関する基礎的研究』平成12年度九州大学P & P研究資金報告書, pp.1-176, 2000年3月。(研究ノート, 単著)
- 「ソウル大学中央図書館所蔵貴重本リスト」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成13年度科学研究費中間報告書, pp.115-116, 2001年3月。(研究ノート, 単著)
- 「大邱・釜山市立図書館貴重本リスト」『台湾・商船・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成13年度科学研究費中間報告書, p.117, 2001年3月。(研究ノート, 単著)
- 「遼寧省図書館所蔵日本語古典籍目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成13年度科学研究費中間報告書, pp.118-241, 2001年3月。(研究ノート, 単著)
- 「台湾大学総図書館所蔵日本語古典籍目録」『台湾大学所蔵日本語古典籍調査』平成14年度科学研究費報告書, pp.113-376, 2002年3月。(研究ノート, 単著)
- 「大韓民国国立中央図書館所蔵日本語古典籍目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, pp.181-674, 2002年3月。(研究ノート, 単著)
- 「釜山広域市立市民図書館日本語目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, pp.181-674, pp.675-716, 2002年3月。(研究ノート, 単著)
- 「慶北大学図書館所蔵日本語古典籍目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, pp.717, 2002年3月。(研究ノート, 単著)
- 「東北師範大学図書館所蔵日本語古典籍目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本語古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, pp.718-729, 2002年3月。(研究ノート, 単著)

- －「遼寧省図書館所蔵日本古典籍目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, pp. 730-734, 2002年3月。(研究ノート, 単著)
 - －「吉林省図書館所蔵日本古典籍目録」『台湾・朝鮮・満州に設立された日本植民地期各種図書館所蔵日本古典籍の書誌的研究』平成14年度科学研究費報告書, pp. 735-736, 2002年3月。(研究ノート, 単著)
 - －「大邱広域市立中央図書館所蔵日本古典籍目録」『韓国言語文化研究』第2号, pp. 65-80, 2002年4月。(研究ノート, 単著)
 - －「朝鮮半島, 台湾, 満州・・・植民地時代の日本語古典籍を追う」『西日本新聞』, 2001年10月9日。(その他・単独)
 - －「台湾所在の日本関係資料研究会に寄せて(下)」『琉球新報』, 2001年12月14日。(その他・単独)
 - －「研究成果を共有へ／台湾所在の日本関係資料」『琉球新報』, 2001年12月16日。(その他・単独)
 - －「対馬藩通訳官の私文書百数十点」『西日本新聞』, 2002年1月5日。(その他・単独)
 - －「全容を現した旧台北帝大蔵書－琉球, 西鶴, 歌舞伎・・・多彩な日本語古典籍」『西日本新聞』, 2002年1月19日。(その他・単独)
 - －「朝鮮 18世紀に小説木板本 / 対馬で年号入り写本発見」『夕刊読売新聞』, 2002年2月14日。(その他・単独)
 - －「姿見えた台湾の「残置本」－歴史に埋もれた日本語書籍の目録作り」『日本経済新聞』, 2002年2月14日。(その他・単独)
 - －「文化のFTA現象／交流安定期迎える」『西日本新聞』, 2002年5月17日。(その他・単独)
 - －「共催は歴史認識の差を超越できる」『毎日新聞』, 2002年7月1日。(その他・単独)－「息づく朝鮮通信使く1」対馬藩小田幾五郎『長崎新聞』, 2002年8月3日。(その他・単独)
 - －「息づく朝鮮通信使く2」雨森芳洲『長崎新聞』, 2002年8月4日。(その他・単独)
 - －「息づく朝鮮通信使く3」現代の韓語司『長崎新聞』, 2002年8月5日。(その他・単独)
 - －「息づく朝鮮通信使く4」行列振興会『長崎新聞』, 2002年8月6日。(その他・単独)
 - －「息づく朝鮮通信使く5」『長崎新聞』, 2002年8月7日。(その他・単独)
- ミヒェル・ヴォルフガング
- －“Aufbruch in ‘innere Landschaften‘-Zur Rezeption westlicher Körperkonzepte in der Medizin der Edo-Zeit.” *MINIKOMI*, Nr. 62, pp. 13-24. Akademischer Arbeitskreis Japan, Wien, 2001年11月(論文・単著)
 - －“On the Reception of Western Medicine in Seventeenth Century Japan.”吉田忠, 深瀬泰且編『東と西の医療文化』思文閣出版, 京都, 2001年, pp. 412-426.(論文・単著)
 - －*Engelbert Kaempfer: Werke. Kritische Ausgabe in Einzelbänden*. Herausgegeben von Detlef Haberland, Wolfgang Michel, Elisabeth Goessmann. Iudicium Verlag: München, 2001ff. Band I/1 Engelbert Kaempfer: *Heutiges Japan*. Herausgegeben von Wolfgang Michel und Barend J. Terwiel. Iudicium Verlag: München. 779pp. 2001年11月。(著書・共編著)
 - －*Engelbert Kaempfer: Werke. Kritische Ausgabe in Einzelbänden. Band I/2 Engelbert Kaempfer: Heutiges Japan*. Herausgegeben von Wolfgang Michel und Barend J. Terwiel. Iudicium Verlag: München, 828pp. 2001年11月(著書・共編著)
 - －「身体の内景－腫物の手当から人体解剖へ」於：津山洋学資料館, 津山, 2001年11月(招待講演・単独)。
 - －“Engelbert Kaempfer in Japan. Symposium: Anfänge der deutschen Asienforschung: Engelbert Kaempfer und seine Zeit.”於：Asienzentrum Bonn, 2001年11月。(招待講演・単独)
 - －“Kaempfers Japan und Dohms Kaempfer.” 於：Lemgo (Vortragsreihe anlässlich des 350. Geburts-

- tags von Engelbert Kaempfer), 2001年11月。(招待講演・単独)
- 「太田黒玄淡の阿蘭陀外科免状とその背景について」於: 洋学史学会, 2001年大会, 京都, 2001年12月。(口頭発表・単独)
- “Japan im Lichte des Werks von Engelbert Kaempfer.” 於: Kunsthalle Bielefeld, 2002年3月。(招待講演・単独)
- “Western Medicine and Pharmaceutics in 17th Century Japan.” The 10th International Conference on the History of Science in East Asia. Shanghai, 2002年8月。(口頭発表・単独)
- 「シーボルト記念館蔵の『阿蘭陀草花鏡図』とその背景について」於: 日本医史学会, 第103回大会, 新潟市, 2002年9月。(口頭発表・単独)
- “Zurück zu den Quellen-Bericht über das Sonderforschungsprojekt 'Edo no monozukuri'”. 於: 12. Deutschsprachiger Japanologentag, Bonn, 2002年10月。(口頭発表・単独)
- 「1672年の出島蘭館における薬油蒸留とその背景について」於: 日本薬史学会, 平成14年度会, 富山市, 2002年10月12日。(口頭発表・単独)

情報基盤センター (言文兼任)

田畑 義之

- 「Webを活用したドイツ語多読支援システムの構築」日本独文学会西日本支部第53回研究発表会 於: 鹿児島大学, 2001年12月。(口頭発表・単独)
- 「オンライン外国語学習システム Web Exercise —可能性と課題—」『言語科学』第37号, pp. 57-68, 2002年3月。(論文・単著)
- “Ein webbasiertes Leschilfe-System für den Deutschunterricht in Japan.” 7. Seminar für Deutsch als Fremdsprache, 於: 流通科学大学セミナーハウス, 2002年3月。(口頭発表・単独)

大学教育研究センター (言文兼任)

武 継平

- 『異文化のなかの郭沫若』400pp. 九州大学出

版会, 2002年12月。(著書・単著)

- 『現代中国散文選』166pp. 中国書店, 2002年9月。(編注・単著)
- 『漢語步步高(初級)』100pp. 中国書店, 2002年3月。(教科書・共著)
- 「北伐時の郭沫若」『言語文化論究』No. 16, pp. 15-28. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月。(論文・単著)

Backley, Phillip

- “The Status of Coda Consonants.” 言語学研究会の第50回言語学研究会 於: 九州大学, 2002年6月。(口頭発表・単独)
- “Prosodic Markers in Melodic Representation.” 『言語文化論究』No. 16, pp. 125-145. 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年7月。(論文・単著)

石 汝杰

- 「中国語の一方言, 呉語について」第138回言語研究会, 於九州大学2001年11月。(口頭発表, 単独)
- 「關於江淮方言和呉語的边界問題研究」歴史文献データと野外データの総合を目指した漢語方言史研究(基盤研究(B)), 研究代表者太田斎) 研究会, 於神戸学園都市 UNITY2002年1月。(口頭発表・単独)
- 「關於中華書局本《型世言》の校点問題」『言語科学』37, pp. 35-47. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2002年3月。(論文・単著)
- 「蘇州方言的比較句式」中国東南部方言比較研究計画) 學術討論会, 於: 杭州師範学院, 2002年4月。(口頭発表・単独)
- 「《明清呉語詞典》的編纂和相關問題」歴史文献データと野外データの総合を目指した漢語方言史研究(基盤研究(B)), 研究代表者太田斎) 研究会, 於神戸学園都市 UNITY2002年6月(口頭発表・単独)
- 「蘇州方言的性別問題」首屆社会語言学學術研

- 討会発表，於：北京語言大学，2002年9月。（口
頭発表・単独）
- W. Grootaers 著『中国言語地理学のために』（中
国語訳本）上海教育出版社，2002年11月。（翻
訳・共訳）